

情報公開用文書(附属市民総合医療センターで実施する研究)

西暦 2017 年 3 月 9 日作成

研究課題名	小児 1 型糖尿病患者の初診時随時血清 C ペプチド値の早期病型診断における役割に関する後方視的研究 — 単施設後ろ向き観察研究
研究の対象	2004 年 4 月 1 日から 2014 年 3 月 31 日までの間で小児糖尿病の診断を受け横浜市立大学附属市民総合医療センター小児総合医療センターに 2 年以上の通院歴があり、初診時に血清 C ペプチドを測定されているもの。
研究の目的	小児糖尿病診断時の血清 C ペプチドが早期の病型診断の一助と成り得るのかを比較検討する。またそれぞれの病型での血清 C ペプチド値のその後の推移についても比較検討する。
研究の概要	小児糖尿病患者で診断後 2 年以上経過している症例において現在の主治医の診断と初診時の血清 C ペプチド値の値とが関連するのかを検討し、初診時の血清 C ペプチドが病型診断に有用なのかを調査する。
研究の方法	各小児糖尿病症例における初診時および診断から 3 年後の血清 C ペプチド値の平均値の差を t 検定を用いて算出する。また ROC 曲線解析を用い、初診時および診断から 3 年後の血清 C ペプチド値の現在の糖尿病型診断に対しての診断への正確度を評価する。
研究期間	西暦 2017 年 6 月 1 日 ~ 西暦 2020 年 5 月 31 日 (3 年間)
個人情報保護に関する配慮	記入済みのデータベースは、本研究に関わる研究者以外がアクセスできないよう管理・保管に努める。研究成果の公表においては被験者患者のプライバシー保護に十分配慮する。
<p>本研究のために、患者さんにあらたな負担や危険が生じることはありません。患者さんもしくはご家族の方等がこの研究へのご参加を希望されない場合は、以下の連絡先までご連絡いただけましたら、その方の情報は本研究に利用しないようにいたします。本研究への参加をお断りになられたとしても、不利益になることは一切ございません。</p> <p>問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</p> <p>〒232-0024 横浜市南区浦舟町 4-57 横浜市立大学附属市民総合医療センター 小児科 志賀健太郎 電話番号：045-261-5656 (代表)</p>	